



月例山行 入道ヶ岳 906m 3月17日

市橋、水野、柴橋、水谷、中村

▲雨が心配される曇天の中、5人（うち4人は同山に初挑戦）で入道ヶ岳に登った。7年前には無かった椿大神社の第3駐車場（登山者用）に集合、午前9時00分に「北尾根ルート」で登山を開始した。途中、早朝登山の下山者とすれ違いながら、2時間15分で山頂に到着すると、多くの人で賑わっており、天気も回復して向かいの御在所岳がよく見え、風も心地よい。



しかし、それもつかの間、20分程して冷たい



風が変わったので雨も近いと判断し、急ではあるが距離が短い「井戸谷」にルートを変更して下山を開始した。まもなく、雨が降り始めたため避難小屋で雨対策をして、約1時間35分で無事下山した。歩行距離約10km 一記録：市橋

春山・雪山、装備と天候



▲春山は楽しい。低山は、山草が芽生え、陽光は眩しく気持ちも華やか。冬に比べ日も長くなり、行動時間も長くとれるようになる。

一方、高山は雪山である。日差しも強く暑い。しかし、朝夕は凍てつく。日中融けた雪が、ガンガンに凍り、早朝はアイゼンが軋む。日が昇ると雪崩の心配がある。そして山の天候は気まぐれである。

心構えはもちろん、あらゆる面で冬山を想定した準備、備えが要る。吹雪、みぞれ、雨もある。日中融けた雪は、靴を濡らす。冬よりも始末の悪いこともしばしば。

▲特に雪山は、天候には逆らえない。高齢者の多い当会では、天候は重視すべき絶対条件と位置付けておくこと。ルートと天候、迷ったら戻る、これを肝に銘じ、安全登山に徹して欲しい。

例会場 ⇒ 9月から矢田小学校へ

▲現在利用している「ウィルあいち」が改装のため、8月末で以降の利用ができなくなります。このため、名古屋市が生涯学習の一環として、学校のスポーツ施設や会議室を一般開放している事業へ乗っかり、東区の矢田小学校を借りることにしました。利用時間は18～21時、利用料金は900円、駐車場もあります。

このため、9月から会場を矢田小学校へ変更することとしました。



愛知県名古屋市東区矢田南 4-4-1
052 721-2525 トワイライト
ナゴヤドーム前矢田駅 1 出口 から 徒歩約 2 分